

令和3年
10月1日発行

79号

2021.10月

甲斐市社協だより

かがやき

KAGAYAKI



夏!!ボランティア体験(点字体験)



社会福祉法人

甲斐市社会福祉協議会

<https://www.kaishakyo.or.jp>



人と人がつながり安心して暮らせる
福祉のまちづくり



住民同士の
地域づくり

甲斐市「地域のささえ合い」

誰もが年齢を重ねても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたいと思っているのではないのでしょうか。日々の暮らしの中でゴミを出すことや電球の交換などちょっとした大変なことが出てきた時に地域とのつながりがあれば孤立することなく安心して生活することができます。

団塊の世代が全員75歳以上を迎える2025年には、約3人に1人が65歳以上になり、更に高齢化が進むとされています。又、家族形態の変化により65歳以上の一人暮らしや高齢者の夫婦のみの世帯が約7割となり、認知症高齢者は5人に1人と予想されています。

今後、少子高齢化や社会的孤立等いろいろなことが暮らしに影響が出てくると考えられ、病気や高齢等様々な理由により住み慣れた地域での生活をあきらめなければならない状況が出てくることも考えられます。

このような急激な変化の中で、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けていくには医療や介護だけではなく要介護状態になることを予防しながら地域のささえ合いの取組みを充実させていく必要があります。

甲斐市においても医療や介護の連携や、住まいの確保、予防の推進、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現のために様々な事業が行われていますが、住民同士や住民と関係機関の交流の促進や各制度に基づく事業では事業ごとの連携が十分ではないこともあり、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも、元気で安心して暮らせるために、地域のささえ合い体制の仕組みづくりを推進しています。(甲斐市の高齢化率 25.8%、高齢者のひとり暮らしは 23% 2021年4月現在)

●●● 地域のささえ合い活動 ●●●

住んでいる地域ではどんなささえ合いやつながりづくりが行われているのでしょうか。

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を安心して続けていくためには、介護予防の取組みと、地域のささえ合いの仕組み(気軽に頼んだり使うことができるような周りの手助けがあれば、地域で暮らすことができる)を充実させていくことが必要となります。5年後、10年後、その先も住んでいて良かったと思えるささえ合いの地域づくりを進めています。

高齢になっても地域で
役割を持って活動する

大切なこと

ちょっとした困りごとを
地域住民同士で
気にかける・支え合う

地域の集いの場に出掛けることで
様々な人と交流する



地域の実情に合わせた「ささえ合い」の仕組みづくりを推進しています。

話し合ってみよう

- 例 ● ゴミ出しができない
- 買い物に行けても重い物を持って帰れない
- 閉じこもりが心配

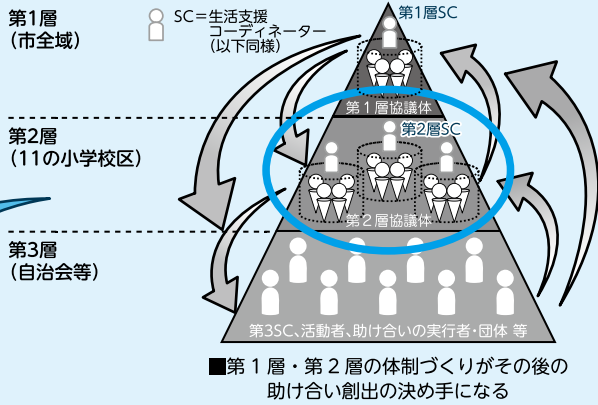
できそうなことを やってみよう

- 例 ● ちょっとした手助け
- 居場所づくり
(気軽に集まれる場所)

支え合いの地域に

- 例 ● 孤立しない
- あいさつや声掛けができる
- 役割を持ち社会参加ができる

甲斐市のささえ合いの体制



協議体

地域の方が中心となり、地域で生活しているからこそ気づく医療や介護などサービスだけでは解決できないような生活上のちょっとした困りごとや支援、気軽に集まれる居場所づくりなどについて話し合う場であり、地域を元気にする場でもあります。住み慣れた地域で、いつまでも元気に安心して生活するために、どんなささえ合いが必要か、自分たちにはできることは何かなどみんな話し合いをする場所が協議体です。

市内11小学校区の2層協議体ごとに名称を付け活動を行っています。

竜王小学校区 【ささえ愛竜王】	竜王北小学校区 【ささえ愛信玄堤】	竜王南小学校区 【南ささえ会い隊】	竜王東小学校区 【ささえあい竜王東】	竜王西小学校区 【ささえあい竜西】	玉幡小学校区 【ささえ愛玉幡】	敷島北小学校区 【敷島北地区ささえ愛隊】	敷島小学校区 【ささえ合い敷島】	敷島南小学校区 【敷南ささえ愛の会】	双葉西小学校区 【双葉西ささえ愛クラブ】	双葉東小学校区 【ささえ愛クラブ登美】
--------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	-------------------------	---------------------	-----------------------	-------------------------	------------------------

2層協議体活動の様子



ささえ合いの情報を発信したり、地域ごとにニーズ調査を行い話し合いの場を持つなど活動を行っています。

ささえ合い活動についてお気軽にご相談ください。

甲斐社協 ボランティアじょうほう

Go 甲斐 ボランティア

●甲斐市ボランティアセンター
 (甲斐市社会福祉協議会)
 ☎ 055-277-1122
 ☎ 055-277-1284

夏!! ボランティア体験

児童生徒を対象に1日でいろいろなボランティア体験ができる「夏!! ボランティア体験」を今年度も実施いたしました。児童生徒が体験した内容を紹介します。



炊き出し体験



災害ボランティア講習



点字体験



施設ボランティア体験(マジック)



声の広報吹込み体験



体験後のレクリエーション

体験に協力していただいたボランティア団体紹介

- 炊き出し体験…甲斐市赤十字奉仕団
- 災害ボランティア講習…甲斐市災害ボランティア協力員
- 点字体験…六点の会
- 施設ボランティア体験(マジック)…甲斐マジック愛好会
- 声の広報吹込み体験…うふふ

夏!! ボランティア体験にご協力いただき
 ありがとうございました。



高校生ボランティアの皆さんが受付補助やレクリエーションのお手伝いをしてくれました。

参加した児童の感想



- ✿ 袋一枚で御飯が作れることにまず驚いたし、災害の時には役立てられると思った。(中学3年生 女子)
- ✿ 災害が起きた時に活かせる体験ができとても興味深かった。(中学3年生 女子)
- ✿ 突然地震が起きてても落ち着いて行動したいと思った。(中学3年生 女子)
- ✿ 学校で避難訓練をよく行うけど、実際起こったら、うまくはいかないことが分かった。(中学2年生 女子)
- ✿ 点字というものの自体は元々知っていたけれど、しくみや法則をこの機会に知ることができて良かった。(中学3年生 女子)
- ✿ 初めて点字を知りました。規則があってとても面白かった。(中学3年生 女子)
- ✿ マジックをするのも、見るのも楽しかった。家族に披露したいと思った。(中学3年生 女子)
- ✿ マジックは人を笑顔にさせる力があると思った。(中学3年生 女子)
- ✿ この活動を行っていることを初めて知ったし広報を読み上げることで多くの人を助けられるので良いな、と思った。(中学3年生 女子)
- ✿ このようなボランティアがあると初めて知った。視覚が優れない人は聴覚がとても優れていると分かった。(中学2年生 女子)

当日の会場である敷島保健福祉センター前の花壇は、
花ボランティアすずらんの会の皆さんが手入れしています。



\\ ボランティアをはじめめるきっかけづくりを応援します。//

甲斐市ボランティアセンターでは、子どもからシニア世代の方まで「ボランティア活動をはじめたい!」という方に対し、ボランティアとして大切にしたい“モットー”や、実際に活動しているボランティア団体を紹介し、その方に合ったボランティアをみつけるお手伝いをさせていただきます。ボランティアをはじめめるきっかけづくりを応援します。

「ボランティアをはじめてみたい」「ボランティアって興味があるけど一歩踏み出せない」という方がいましたらお気軽に甲斐市ボランティアセンターまでご連絡ください。

基幹相談支援センターの取り組み

甲斐市社会福祉協議会には障がいに対する知識を持つ専門員がおり、地域の方々と培ってきたつながりがあります。障がいに対する地域の方々への一層の理解を広げるため、その役割を担っています。

どんな相談に乗ってくれるの？

福祉サービスに関すること

障害者年金の申請など制度に関すること



就労に関すること

日常生活に関すること

病院や施設からの地域移行に関すること

上記の個別相談のほか、住民向け研修など地域の方々への取り組みを行っています。

問い合わせ先

☎055-267-7010

✉kikan@kaishakyo.or.jp

じぶんの町をよくするしくみ。

赤い羽根共同募金にご協力をお願いいたします



今年も10月1日から『赤い羽根共同募金運動』が全国一斉にスタートします。みなさまのご協力により集まった募金は山梨県共同募金会に送り、地域の高齢者・障がい者・子育て支援事業及び災害ボランティアセンター事業の運営や市内福祉施設団体・学校への助成など幅広く役立てられています。

また、甲斐市では自治会において実施される事業に対し前年度個別募金の実績額から20%を交付し地域福祉事業促進の一助として活用していただいています。

地域の福祉を支える共同募金にみなさまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



甲斐市では、世帯を対象とした家庭募金、企業を対象とした大口・事業所募金、学校や保育園などを対象とした特殊募金、市内にお勤めの方を対象とした職場募金、駅や商業施設などでの街頭募金を実施しています。

赤い羽根
共同募金
まちがいがし

左右の絵を比べて7つの
間違いをさがしてみてね！
(答えは7ページに掲載します。)



令和3年度 福祉ポスター

今年も多くの作品が
集まりました

多く子どもたちに福祉に対する理解を深めていただくため、夏休みを利用して福祉ポスターを募集し、甲斐市内の小学生から合計607点の作品が寄せられました。

入選作品は、竜王駅南北自由通路にて展示(下記参照)するとともに次号かがやきに掲載させていただきます。

また、コロナ禍の取り組みのひとつとして、ウェブ上(社協ホームページ)で応募全作品がみられるようになりますので是非ご覧ください。

展示場所 竜王駅南北自由通路

展示期間 11月19日(金)～30日(火)

ウェブ掲載 11月19日(金)



昨年の様子

甲斐市社会福祉のつどい

福祉意識の啓発を図ることを目的に行う“甲斐市社会福祉のつどい”は、コロナ禍のため福祉ポスター入選者及び福祉功労者の被表彰者のみを招待し、感染対策に留意する中で、実施することになりました。

福祉車両・車椅子の貸し出しをしています。

	福祉車両	車椅子
対象者	甲斐市在住の車椅子ご利用の方 (運転手は利用者が確保してください)	甲斐市在住の方 (介護保険サービス利用の方は 介護保険優先)
利用料	無料 (ただし、燃料費をご負担いただきます)	無料
利用期間	3日以内	2週間以内
その他	事前に空き状況を確認していただき、窓口にて申請してください 貸し出し時には運転免許証を確認させていただきます 【持ち物】 印鑑、運転免許証	



※貸し出し業務は、月曜日から金曜日(ただし、年末年始・祝日は除く)

● 寄付金のご紹介 (敬称略)

多額の寄付をいただきありがとうございます。
ご寄付いただいた浄財は、子どもの食料支援や地域福祉事業に有効に使わせていただきます。

- 古屋明美 (甲府市在住) 500,000 円
- ユニー株式会社アピタ双葉店 “小さな善意で大きな愛の輪” 運動 55,791 円

クラウドファンディングとみなさまの寄付で 夏休み子ども支援事業を行いました

住民・企業のみなさんからの想いが詰まった寄付がたくさん集まり、児童扶養手当受給世帯に食料と生活用品購入引換券をお渡ししました。

『夏休みは食費がかかるのでとても助かります』『生活用品引換券ありがたいです』など感謝の言葉が聞かれました。



ご協力ありがとうございました (順不同・敬称略)

●食料・生活用品寄付【寄付期間：7月1日～8月31日】

(個人) 雨宮恵子、岩田きみ江、西澤孝二、網倉美咲
長谷川博規、望月圭子、角田かの江、小林一
古屋明美

(企業) 生活協同組合パルシステム山梨
生活協同組合ユーコープ、ラザウォーク甲斐双葉
山梨県社会福祉協議会、甲斐市役所職員有志
このはな産婦人科 中村朋子

その他、市内外11か所の
寄付箱や匿名で寄付して下さった方も
大勢いました。



食料・パルシステム山梨様



生活用品・このはな産婦人科様

食料寄付のお願い

甲斐市社協では、甲斐市パーソナルサポートセンター事業の食料支援として、生活支援が必要な生活困窮者に対して、企業や家庭から提供を受けた食料を支援しています。

この事業は、自立相談支援事業と一体となった支援を行うことで自立した生活が送れるようサポートするものです。

また冬休み子ども支援事業に向けて合わせて食料の寄付を募集しています。



少量でも構いませんのでお近くの食料寄付箱へお持ちください。
ご協力お願いいたします。

